

公共事業継続箇所評価調査

(様式5)

評価確定日(令和 6年 9月 27日)

事業コード	R6-建-継-05		区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	広域河川改修事業		部局課室名	建設部 河川砂防課
事業種別	河川改修		班 名	河川・ダム・海岸チーム(tel)018-860-2514
路線名等	一級河川 長木川・支川下内川		担当課長名	河川砂防課長 高杉 英幹
箇所名	大館市沼館		担当者名	チームリーダー 外館 英樹
プランとの 関連	戦 略	防災減災・交通基盤		
	目指す姿	強靱な県土の実現と防災力の強化		
	施策の方向性	頻発化・激甚化する水災害に備えた流域治水対策の推進		

1. 事業の概要

事業期間	H27～ R15(19年)	総事業費	51.3億円	国庫補助率	1/2	
事業規模	長木川延長L=4,200m 計画高水流量Q=630m ³ /s(1/50)、下内川L=3,100m Q=320m ³ /s(1/10)					
事業の立案 に至る背景	長木川では、昭和38年や平成6年を始めとして、豪雨による河岸の決壊や氾濫などの甚大な被害が発生してきた。これに対応するため、過去に発生した洪水を安全に流下させることを目標とした北秋田圏域河川整備計画を平成18年3月に策定した。他の被災河川の事業が完了し次第、国庫補助事業に着手する方針としていたが、平成25年8月9日豪雨で支川下内川が破堤、両川合流点付近の地域が大規模な浸水被害に見舞われた。これにより、既往計画に下内川を追加して、本支川一体となった河川整備を実施する。					
事業目的	大きな被害を受けた大館市沼館地区を始め、長木川及び下内川沿川住民の生命と財産を守るため、河川改修事業により無堤区間及び築堤高不足期間の解消を図り、県土の保全と防災力の強化を推進する。					
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			前回評価	今回評価	増減	理由等
	経費内訳	事業費	4,469,000	5,127,200	658,200	
		工事費	3,901,346	4,565,092	663,746	残土運搬の距離変更による増、頭首工基礎部の地盤改良による増、護岸基礎追加による増
		用補費	167,632	157,880	-9,752	用地実測後の買収面積確定による減
	財源内訳	その他	400,022	403,186	3,164	樋管設計実施による増
		国庫補助	2,234,500	2,563,600	329,100	
		県債	2,011,000	2,307,200	296,200	
	事業内容	その他				
一般財源		223,500	256,400	32,900		
事業の進捗 状況	全体計画 令和5年度末投資額 進捗率 67.1%	C=51.3億円 C=34.4億円				
事業推進上 の課題	特になし					
関連する計 画等	新秋田元気創造プランにおいて、県が継続的に取り組むべき基本政策「防災減災・交通基盤」の施策の方向性③の「頻発化・激甚化する水災害に備えた流域治水対策の推進」に位置付けられている。					
情勢の変化 及び長期継 続の理由	支川下内川においては、長木川合流部～松木橋区間について、令和6年度末に工事が概ね完了する見込みであり治水効果が発現されている。 長木川においては、事業区間内に相続発生地が存在することから、相続人への交渉に期間を要している。					
事業効果把 握の手法及 び効果	指 標 名	河川整備率				
	指 標 式	河川改修済み延長 / 要改修延長				
	指 標 の 種 類	○ 成果指標	● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無	
	目 標 値 a	46.7%(R5末目標)		データ等の出典	河川砂防課調べ	
	実 績 値 b	46.8%(R5末実績)		把握の時期	令和6年 3月	
達成率 b/a	100.2%					

前回評価結果等	<input checked="" type="radio"/> 選定または継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 保留または中止
	①指摘事項
	特になし
	②指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容 (特記事項)	評 価 点
必 要 性	想定する浸水区域が230haと広大で、その中には908戸の人家だけでなく沼館保育園や城南保育園分園等の児童福祉施設、桂城小学校や大館看護福祉大学等の文教施設、JR奥羽本線等の重要交通が立地している。過去の災害実績も大きく、事業実施の必要性は高い。	30点
緊 急 性	現況河川は無堤区間や堤防高の不足する区間が多く、流下能力は改修目標に対して長木川では31%、下内川で22%と著しく低くなっており、重要水防区域にも位置付けられている。過去には昭和38年を始めとして平成に入ってから家屋の浸水被害が幾度か発生しており、近年は下内川の破堤に伴い大きな被害が発生していることから、事業の緊急性は高い。	13点
有 効 性	現河道を取り込み、河床に極力手をかけない計画であり、経済的に有利な改修方法である。また、河川断面の拡大により、平成25年洪水の水害規模の流量を安全に流下させることが出来るようになるため、事業の災害防止効果は高い。堤防の嵩上げ及び護岸、河道掘削が主な工種であり、親水性向上を見込む施設等の計画はないが、植生の回復や護岸勾配の緩傾斜化等により現状程度の親水性を確保する。	7点
効 率 性	事業の費用便益比は2.83であり、効率性は高い。また、残土の流用や現地発生材の有効活用、再生砕石の利用などによりコスト縮減に努める。	13点
熟 度	古くから幾度となく水害が発生していることから、平成25年8月の豪雨による水害を契機に、改修事業を実施するよう地元大館市から要望書が出されている。また、地域住民を対象に事業説明会等を開催したところ、地域住民は事業実施の意向が強く、同意を得ている。環境への配慮については、河床を保全するなど現河道を出来るだけ取り込んで工事の影響範囲を小さくし、地元説明の際に環境保全に対する意見聴取を行っており、河川環境に配慮しながら事業を実施することとしている。	23点
判 定	ランク (●Ⅰ ○Ⅱ ○Ⅲ) 多くの項目において評価点が高く、住民の生命と財産を守り、また県土の保全と防災力の強化を推進する上でも有利な事業箇所であり、事業を継続すべきと考える。	86点
総合評価	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 中止 事業継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等 (対応方針)

コスト縮減に努めながら、事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

公共事業箇所評価基準

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 河川改修事業

事業コード (R 6 - 建 - 継 - 0 5)
箇所名 (一級河川 長木川・支川下内川 大館市沼館)

1. 評価内訳

観点	評価項目	細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	想定氾濫区域内の状況	浸水戸数	50戸以上	10	10	長木川 800戸 下内川 108戸 合計 908戸
		10戸以上49戸以下	7			
		9戸以下	3			
	浸水面積	60ha以上	10	10	長木川 121ha 下内川 109ha 合計 230ha	
		10ha以上60ha未満	7			
		10ha未満	3			
	重要な公共施設	3施設以上	5	5	桂城小学校、沼館保育園、 J R、城南保育園分園、秋 田看護福祉大学 ほか	
		1施設以上	3			
		なし	0			
	整備計画の策定					
関係者、関係機関との調整		整備計画策定済み	5	5	H27. 6. 5策定	
		協議中であるが特段問題ない	3			
		策定に着手していないが予定がある	1			
		予定なし	0			
計				30	30	
緊急性	災害発生の危険度	改修目標流量に対する現況流下能力	40%未満	10	10	長木川 31% (計画流量630m ³ /s に対し現況流下能力200m ³ /s) 下内川 22% (計画流量320m ³ /s に対し現況流下能力70m ³ /s)
		40%以上60%未満	7			
		60%以上	5			
	秋田県水防計画					
	重要水防地域	評定基準区分A	5	3	R6水防計画書より区分B	
評定基準区分B	3					
計				15	13	
有効性	河川整備の有効性					
	安全度	災害防止等効果が発現する	7	7		
		災害防止効果は現状と変わらない	0			
	親水性	安全に川と親しむ場として利用が見込まれる	5	0		
		親水性は現状と変わらない	0			
地域開発の状況	都市計画区域の存する地域	3	0			
	地域開発の計画がある	1				
	予定なし	0				
計				15	7	
効率性	事業の投資効果					
	費用便益比 (B/C)	1.0以上	5	5	2. 83	
		1.0未満	0			
	事業実施コストの縮減					
	該当項目数	3項目以上	5	5	残土流用 発生材 (Co殻) 利用 再生砕石利用	
		2項目	3			
		1項目	1			
なし		0				
前回計画との比較						
前回計画事業費からの縮減	減少または10%未満の増加	5	3	R6評価時：51. 3億円/前回 評価：44. 7億円=14. 7%		
	10%以上30%未満の増加	3				
	30%以上の増加	0				
計				15	13	
熟 度	地元の状況					
	地域住民の事業実施の意向	意向が強く要件の同意をクリアしている	5	5	事業説明会H28. 9. 7~8 用地説明会H30. 4. 26、 H30. 7. 3~4	
		意向が強く要件の同意を概ね得ている	3			
		意向が一部で強いがまだ要件の同意は得ていない	1			
	市町村の参画	積極的に参画し要望書等の提出がある	5	5	要望書H26. 4. 10 大館市	
		参画している	3			
		参画していない	0			
	事業の進捗状況					
	進捗率 (事業費)	8割以上完了	10	8	(R5)34. 4/ (計画)51. 3= 67. 1%	
		5割以上完了	8			
1割以上完了		5				
1割未満		2				
環境との調和への配慮状況						
環境保全への配慮 (秋田県公共事業環境配慮システムでの 環境配慮事項)	3事項以上	5	5	工事影響範囲の最小化、低水路 の保全、環境保全の地元意見聴 取		
	1事項以上	3				
	環境配慮事項がない	0				
計				25	23	
合 計				100	86	

2. 判 定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		